

令和2年10月12日  
広島工学院大学校

## 令和1年度 広島工学院大学校 学校関係者評価 報告書

令和1年度は新型コロナウイルス感染症対策のため「自己点検・自己評価」を基に外部の評価委員より聞き取りおよびアンケート調査にて実施いたしました。

参加者：・一般社団法人 広島県自動車整備振興会 指導部部長 相原寿直 委員  
・伍永通信 株式会社 代表取締役 竹中 光 委員  
・在校生保護者 大林 泉 委員  
・卒業生 岡田康嗣 委員

### 1. 学校関係者による「自己点検・自己評価」の評価

#### (1) 教育目標について

- ・社会や業界ならび企業の要求に応じた人材を社会に送り出せるよう学校理念、教育目標を掲げ、それらに向かい積極的に計画を実行しておられます。
- ・今年はコロナの問題もあり、先生方もご苦労があったことと思います。それでも方針に則り運営されていると思います。
- ・学校の教育理念にきちんと沿って定められていると思います。

#### (2) 学校運営について

- ・異業種または専門的な知識を必要とする研修会を積極的に開催されており良い試みだと考えます。
- ・学校運営では、各評価項目に対し特に課題はありません。

#### (3) 教育活動について

- ・新型コロナウイルス感染症の終息が不透明な中、リモート等による教育方針を確立する事が急務と考えております。
- ・教育課程編成委員会で得た企業や団体の変化を学生の資質にあわせてカリキュラムに反映しておられます。それらの成果を学生から直にアンケートをとり精査していますので次回カリキュラム編成時にフィードバックでき、良い循環ができていますと考えます。

#### (4) 学修成果について

- ・学修成果に関しましては特に意見はございません。
- ・年々、企業との連携が強くなり内容が生徒にとって有意義なものになっている

と感じました

(5) 学生支援について

- ・学生支援と教育環境ともに自己点検評価に3が散見されますが、各評価項目に対して現状の把握と課題の洗い出しをしっかりとされており、今後の方策が進めば改善されていくと考えます。
- ・学生の個性が多様化していると感じる中で、先生方が努力されているように感じます

(6) 教育環境について

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により弊会にて開催しております各種研修会が中止または延期となっており教員研修への参加ができない状況となっていることに対して大変申し訳なく思います。
- ・コロナの問題で前期はオンライン授業が続いていました。このような事態は予測できない事ですが、ネット環境を整備することが大事であると感じました。

(7) 学生の受け入れ募集について

- ・積極的に活動されている印象を受けました。学校のアピールも大切だと思いましたが、企業や業界も学生へ対するアピールが必要と感じました。
- ・官学民が一体となり取組を強化することが必要と考えます。  
弊会（広島県自動車整備振興会）においては一助となればと、7月21日よりTSS・RCCの2局において人材確保育成事業としてTV CM（来年の1月まで272本）を放送します。